

## 第 1 回新文化ホール整備審議会のふりかえり

### 1. 方向性等に対する意見

- 事業者によい提案をするために、ホールに求める運用の方向性を提示すべき
- 2館体制での役割分担を相互補完的にすべき
- 周辺の公共施設と調和したホールのあり方を

### 2. 収支に関する意見

- 芸術は大事であるが、採算が合わなければ継続しない
- 新ホールには独立採算を求めるべき
- 全国平均で7割の税金投入が行われているが、そうではない運営を
- 興業だけでなく市民に還元できる方策を立ててほしい
- 市民の文化活動支援するために支援をしてほしい

### 3. 小ホールに関する意見

- 市民にとって、200席から300席の小ホールの需要が高い
- 大ホールでは市民の活動は難しい。小ホールが必要である

### 4. 市民の文化活動に関する意見

- ブランド力を高め、市民がホールの利用を目指す方向になればよい
- 市民の文化活動を新ホールでも活動が可能にできるようにしてほしい
- 市民の文化活動では、料金が半額になっているので活動が継続できている

### 5. その他

- 市民、利用者、市のそれぞれにとって良いホールとなることを希望している
- 多くの事業者が応募するような募集要項を
- 諮問事項を当日配布の当日賛否にしないで、事前に資料を送付してほしい